

令和2年度

教育総務部の方針書

部名	教育総務部
部長名	木村 雅美

1. 部の使命(ありたい姿)

「楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり」の実現
・子どもから大人まで一人一人が、ふるさと横手に愛着と誇りを持って、自らを高め、未来を切り拓いていけるよう「後方支援」を行います。

担当政策	政策2: 学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます
担当施策	2-2: 安心して学べる教育環境の整備 2-3: 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 2-4: 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進 2-5: よこての伝統文化の継承と再発見

2. 部の抱える課題(現状)

- ・学校統合計画の円滑な推進とICT環境の整備促進
- ・横手市財産経営推進計画をふまえた教育関係施設整備の方向性の検討
- ・地域と学校の連携、協働による地域全体で子どもを育てる環境づくり
- ・図書館機能の充実に向けた具体的な取り組み
- ・失われつつある地域の伝統的な文化的資産の保護と活用

3. 今年度の『スローガン』

「郷土を愛し、共に語り、共に未来を切り拓く、人を育てるまち、横手」
の実現を目指して！！

4. 今年度の方針

- ・安全で安心して学べる教育環境の整備
- ・生涯学習、生涯スポーツによる学びの場の充実
- ・伝統文化及び文化財の保護活用

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	安全で安心して学べる教育環境の整備
	取組内容	・十文字小学校建設工事の完成と開校準備 ・「GIGAスクール構想」に対応する高速大容量ネットワークと端末整備 ・学校施設長寿命化改善計画に基づく事業の実施
(2)	実現したい成果	生涯学習、生涯スポーツによる学びの場の充実
	取組内容	・生涯学習施設、スポーツ施設の整備に向けた方向性の検討 ・学校、家庭、地域の連携、協働による子どもたちの成長を支える環境構築 ・市民の健康増進のための事業推進 ・市立図書館6館の具体的な体制整備
(3)	実現したい成果	伝統文化及び文化財の保護活用
	取組内容	・「横手を学ぶ郷土学」の推進と定着 ・埋蔵文化財発掘調査事業の推進 ・郷土資料館施設等の運用のあり方の検討

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 安全で安心して学べる教育環境の整備
 - ・十文字小学校建設工事は順調に進んでいる。また、十文字小学校開校準備委員会を開催し、校歌や校章等について協議を行った。
 - ・「GIGAスクール構想」に対応する高速大容量ネットワークと端末整備については、プロポーザルにより業者選定を実施した。
 - ・学校施設長寿命化改善計画に基づく事業では、旭小学校大規模改修工事を完了した。
- (2) 生涯学習、生涯スポーツによる学びの場の充実
 - ・「横手市公共施設再配置に関する市民検討委員会」より横手体育館、横手市民会館、大鳥公園プールについて提言書が提出された。
 - ・学校と地域住民を繋ぐ地域コーディネーターを増員し、学校、家庭、地域の連携、協働による子どもたちの成長を支える環境構築に努めた。
 - ・令和3年度からの「横手市スポーツ推進計画」策定のため、アクションプランの振り返りと検討を行った。
 - ・横手駅東口再開発事業における「新公益施設の運営基本計画」の策定に取り組んだ。
- (3) 伝統文化及び文化財の保護活用
 - ・改訂版総合テキスト「よこてだいすき」の作成及びデジタルテキスト化に取り組んだ。
 - ・金沢柵推定地発掘調査第3次5ヵ年計画による発掘調査に着手した。また、県営ほ場整備事業に伴う下福田尻遺跡の発掘調査を実施した。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 安全で安心して学べる教育環境の整備
 - ・十文字小学校建設工事を完了させる。また、開校に向けた準備を計画的に進め、令和3年4月の開校を目指す。
 - ・高速大容量ネットワークと端末整備を完了させる。教職員研修を実施し、来年度からの本格運用に繋げる。
 - ・教育環境整備のため、小中学校普通教室にエアコンを設置する。また、トイレの洋式化率向上に努める。
- (2) 生涯学習、生涯スポーツによる学びの場の充実
 - ・「横手市公共施設再配置に関する市民検討委員会」の提言書を受け今後の方針を検討する。
 - ・新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、各種事業の実施に取り組む。
 - ・コミュニティ・スクール導入に向けた具体的な検討を行う。
 - ・令和3年度からの「横手市スポーツ推進計画」を策定する。
 - ・天下森スキー場及び赤坂総合公園の冬季利用の整備方針を示しながら、横手公園スキー場の廃止に向けた手続きを進めていく。
 - ・「新公益施設の運営基本計画」を策定する。また、「市立図書館全6館体制のあり方」を検討する。
- (3) 伝統文化及び文化財の保護活用
 - ・伝統芸能後継者育成チーム支援事業の対象を調査する。
 - ・金沢柵の発掘調査を継続し、建物跡の検出を目指す。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 安全で安心して学べる教育環境の整備
 - ・十文字小学校建設工事は、令和3年3月に完了する。また、十文字小学校開校準備委員会を開催し令和3年4月の開校に向けた準備が整えられた。
 - ・「GIGAスクール構想」に対応するため、各小中学校に高速大容量ネットワークと児童生徒1人1台学習用端末が整備された。令和3年度より本格運用する。
 - ・学校施設長寿命化改善計画に基づく事業では、旭小学校大規模改修工事を完了した。
 - ・令和3年夏まで小中学校普通教室にエアコンを設置する。また、トイレの洋式化率向上を図るため、3校のトイレ改良工事を施工中。今後もトイレの洋式化に努める。
- (2) 生涯学習、生涯スポーツによる学びの場の充実
 - ・令和3年3月策定の横手市教育ビジョン(横手市教育振興基本計画)において、横手体育館及び横手市民会館の建替え整備を令和3年度からの主要事業と位置付けた。
 - ・横手市都市公園条例を改正し、大鳥公園プールを廃止した。
 - ・令和3年4月施行の「横手市スポーツ推進計画」を策定した。
 - ・学校と地域住民を繋ぐ地域コーディネーターを増員し、事業の拡大を図った。令和3年度は4校(増田小、増田中、十文字小、十文字中)をモデル校としてコミュニティ・スクールを試行し、令和4年度より全ての小中学校において実施する。
 - ・新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、各種事業を実施するよう努めた。
 - ・「新公益施設の運営基本計画」及び「市立図書館全6館体制のあり方」について、引き続き検討していく。
- (3) 伝統文化及び文化財の保護活用
 - ・総合テキスト「よこてだいすき」及び「横手市の文化財」の改訂版とデジタル教材が完成した。小中学校の授業において冊子とデジタル教材を併用して活用することが可能となった。
 - ・金沢柵の発掘調査については、柵を特定するまでは至らなかった。今後も文化庁や後三年合戦関連遺跡整備指導委員会等にご指導いただきながら調査を継続する。
 - ・郷土資料館施設等の運用のあり方について、各種計画との整合性を図りながら引き続き検討していく。